

Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

晴天の横浜出港

Date : 2017/01/23 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 晴れ 気温 : 13.5度 速度 : 11.1ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



きょうは飛鳥II「アジアパシフィックグランドクルーズ」の出航日。幸い天候にも恵まれ、朝方の飛鳥IIはいささか橙色を帯びた冬の光に包まれて、横浜港大さん橋国際客船ターミナルに停泊していました。岸壁には見送りのご家族やお友達はもちろんのこと、過去に乗船された馴染みのお客様までもが集まって、大いに賑わっていました。

増山正己キャプテンによる挨拶、ブラスバンドの演奏などの出港セレモニーが棧橋上で行われたあと、飛鳥IIは色とりどりの紙テープが舞い飛ぶ中で、定刻通りの14時にゆっくりと岸壁を離れました。いよいよ、39日間に亘る太平洋の島々とアジア諸国への船旅が始まります。

デッキの上では岸壁に手を振るお客様の姿や、お客様同士が船上での再会を喜ぶ姿もあちらこちらに。たくさんの笑顔が楽しい旅路を予感させてくれています。船は横浜ベイブリッジをくぐり浦賀水道を進み、16時頃には東京湾外へ出ました。夕焼け色に染まる伊豆半島や伊豆大島が、とてもきれいに見えています。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

今航最初のフォーマルナイト

Date : 2017/01/24 緯度 : N 29度 52分 経度 : E 140度 19分 天気 : 晴れ 気温 : 10.5度 速度 : 15.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



南へ下る飛鳥IIは今朝9時20分ごろに鳥島沖にさしかかりました。火山性の無人島には飛鳥IIのシンボルマークにもなっているアルパトロス、つまり天然記念物のアホウドリがいて、岩場の片隅に鳥たちが無数の白い点々となって見える営巣地も見えました。

さらに12時過ぎには標高99mの孀婦岩（そうふがん）が、左舷側の間近に出現。見渡す限りの大海原に突如屹立する大岩ですが、なんと周囲の水深はおよそ2000mもあるのだとか。出航2日目にして、さっそく船旅でしか味わえない「地球の不思議」を実感しています。

そしてきょうは今航初のフォーマルナイト。どなたも着飾って楽しまれていました。5デッキ中央のアスカプラザでは写真撮影をする姿も多数。フォーシーズン・ダイニングルームでのディナーは写真左下「国産牛フィレ肉のポワレ 赤ワインソース」を筆頭に、ひと皿ひと皿、いつにも増して美味しかったと思います。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

クルーズライフの始まり

Date : 2017/01/25 緯度 : N 24度 8分 経度 : E 141度 26分 天気 : 曇り 気温 : 19.0度 速度 : 14.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



出航3日目は、硫黄島の眺めからのスタートです。毎朝8時50分の定例のキャプテンによる船内放送とともに左舷前方に島影が迫ります。島はその名の通り硫黄の匂いが立ち込めているようで、7デッキの屋外からもその様子が手に取るように見えました（写真左下）。

そして恐らくきょうあたり、どなた様もあらかたの荷物を解いて、客室を「我が家」仕様にした頃でしょう。各種教室のオリエンテーションも続々と始まって、船内はいよいよロングクルーズらしい雰囲気が漂ってきたところです。写真右下は東京藝術大学ART特別講座、テラコッタ教室の説明会。

また、晩にはKONISHIKIさん率いるスペシャルステージがありました（写真上）。かつて相撲部屋に入門すべく来日した際に「日本語よりも先に覚えた」という名曲『北酒場』に始まって、日本語・英語・ハワイ語を駆使しての歌の数々や笑いに満ちたトークなど、華やかで楽しいハワイアンライブとなりました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

船上初のフルート教室

Date : 2017/01/26 緯度 : N 17度 33分 経度 : E 143度 27分 天気 : 曇り 気温 : 26.0度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIの船内で幾多の教室が開催されていることは、ご存知の方も多いと思います。そんな中でも今回まずご紹介したいのが、初めての企画となるフルート教室。講師の中川彩先生が「もちろん初心者の方でも大歓迎です」と言う通り、実際ほとんどのお客様が未経験からのスタートのようでした。

音を出すこと自体が最初の関門となるフルートながら、少人数で先生がまさに手取り足取り教えてくれるので教室の雰囲気はとても和やかで楽しそう。都合3回の教室開催で簡単な曲が吹けるところまでを目指すとか。できるかなあと不安げな顔をされるお客様に対しても、中川先生は「大丈夫です！」と満面の笑み。

そして皆さん初回とは思えないほどの熱心さ。あるお客様方に至っては教室終了10分後には嬉しそうに貸し出しのフルートを手に開催場所のクラブスターズへ舞い戻り、「私たちでもうちょっと練習しようと思ってね」。新しい何かに挑戦する。それもまた、ロングクルーズならではの楽しみに違いありません。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

南国のリゾートの碧い海

Date : 2017/01/27 緯度 : N 13度 28分 経度 : E 144度 40分 天気 : くもり 気温 : 28.0度

速度 : 13.5ノット

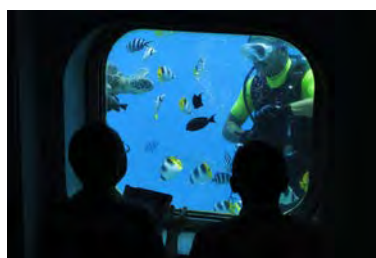
海域 : - 寄港地 : グアム



横浜出航から数えて4日目となる今朝早く、飛鳥IIは最初の寄港地グアムに着きました。6時30分に水先案内人を迎え入れ、7時過ぎには岸壁の手前にて180度ぐると船を転回。船尾のほうからそろそろと港へ入ってゆくという、割合珍しい入港シーンとなりました（写真左下）。

寄港地での楽しみといえば、飛鳥IIが用意するオプションツアーでの上陸観光です。きょうの筆者は碧い海を求めて「グアム半日観光」に参加。大型バス4台を連ねた人気のコースです。フィッシュアイ海中展望塔ではダイバーが餌付けをしてくれていて、たくさんの熱帯魚やウミガメたちがお出迎え。

眺望の面では高台から海を見渡すアプガン砦、そして写真上の恋人岬の2か所を訪ね、時折スコールも降る変わりやすい天気ながらも、要所要所でご覧の通りの晴天に恵まれました。帰途は免税店のTギャラリアグアムで下車して、ブランド品などのショッピングを楽しんだ方も多かったようです。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

太平洋の青空のもと

Date : 2017/01/28 緯度 : N 12度 20分 経度 : E 141度 56分 天気 : 晴れ 気温 : 29度 速度 : 14.6ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



昨晚23時50分にグアムを出航した飛鳥IIは南西へと針路を変えて、次なる寄港地パラオを目指しています。広い海原をゆく旅ならではの事象も種々あって、寄港地との時差を調整する船内時刻改正もそのひとつ。グアム前日には深夜に針を1時間進め、逆に昨日の深夜には船内時刻を再び1時間戻しました。

西行きで1時間得をして1日が25時間になったのでぐっすり眠れて、今朝は皆さん爽快な目覚めだったことでしょう。南海にふさわしく正午時点で気温も28度と真夏の様相。「きょうはいいねえ!」と言って、嬉しそうに青空の下のシーホースプールに繰り出すお客様もいらっしゃいました。

アクティビティも硬軟取り混ぜ多数開催。写真左下、佐治晴夫先生の「宇宙はどこまで広がっているのか 一宇宙研究最前線の話」は船旅よりもさらに広い宇宙に思いを馳せる壮大な話でしたし、大人のたしなみとして人気のカクテル教室や、思わず童心に返れる紙飛行機教室（右下）などもありました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

テラコッタ教室、素焼き彩色編

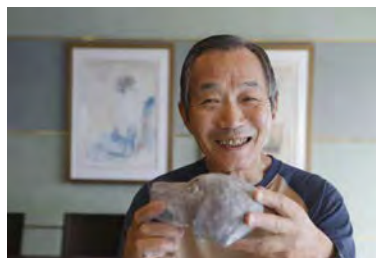
Date : 2017/01/29 緯度 : N 9度 22分 経度 : E 137度 22分 天気 : 曇り 気温 : 33度 速度 : 13.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょうは東京藝術大学ART特別講座・テラコッタ教室にお邪魔しました。講師は大石雪野先生（写真上、左から2人目）。先生は初乗船ながらこの飛鳥IIともご縁があるそうで、お客様が船上で常々目にするアスカプラザや11デッキ船尾などにある彫刻の作者・北郷悟先生こそが、大石先生の恩師だと聞きました。

さて、前回の教室で形作ったものを大石先生が焼いてきて、きょうの作業は作品に息を吹き込む彩色です。水彩絵の具や墨汁、砥の粉などで色づけします。「砥の粉はテラコッタととても相性がいいんです。凹凸がはっきりするので、細かな指使いのニュアンスを表現できますよ」と大石先生。

作品はお地蔵さんや愛犬の頭像から創造的な抽象作品まで、皆さんそれぞれに個性的。「素焼きは植木鉢みたいに水をいっぱい吸いますから思い切り塗ってください」というアドバイスを聞くと、筆遣いもぐっと大胆に……。素敵な仕上がりに満ち足りたお客様の笑顔が、何より印象的な教室でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

現地写真家と巡るパラオの絶景

Date : 2017/01/30 緯度 : N 7度 21分 経度 : E 134度 26分 天気 : 曇り 気温 : 30.5度 速度 : 13.4ノット
海域 : - 寄港地 : パラオ



環礁の間の水路を抜けて、今朝8時過ぎに飛鳥IIはパラオの入り江に投錨しました。きょうの筆者はオブショナルツアー「～写真家と撮る～ 世界遺産・穴場撮影とロングビーチ」に参加してみました。飛鳥II初の試みとなる、現地の写真家とモデルさんが同行する撮影ツアーです。

写真上、まるで海外旅行のイメージ広告のようですが、つまりはこんな写真が誰でも撮れます。モデルは左からジョディさん、ナオミさん、デシーさんの美女3名。パラオでウエディングカップルなどのポートレイトを撮る西田先生が、「じゃあ次はここで撮りましょう」とポイントをてきぱきと教えてくれました。

天気も曇りがちな予報に反して見事な晴れ間。美しい入り江、鬱蒼とした森、輝く砂浜と海。さまざまな景色をバックにシャッターを切りました。最後は干潮時にだけ姿を現す砂州「ロングビーチ」に上陸して記念撮影。少人数で和気あいあい、「最高のツアーだよ！」との声まで聞こえた、大満足の日でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

ロングクルーズの素敵な出会い

Date : 2017/01/31 緯度 : N 4度 47分 経度 : E 129度 51分 天気 : くもり 気温 : 28度 速度 : 17.3ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



ひと月以上に渡るロングクルーズでは特に、お客様同士が意気投合することもよくあります。素敵な出会いをサポートする催しは複数あって、例えば初乗船者パーティーやシングルスパーティーがそうですし、きょう13時から船内各所に分かれて開催された「県人会」もそのひとつと言えるでしょう。

北海道・東北の方はマリナーズクラブ（写真上）、北関東の方はパームコート（同左下）といった具合。どの部屋も担当のクルーズスタッフが開催を宣言する前からすでにお客様同士で自然と挨拶を交わっていて、いつの間にか話に花が咲いているようでした。同郷とは、やはりそれだけで親しみが増すようです。

そして14時からはインドネシアに精通する大津伸子先生の講演も。飛鳥II初寄港となる次の寄港地・アンボンにまつわる香料の話です。クローブ（丁字）やナツメグをめぐる列強の覇権争いの話と合わせて、香辛料の実物も披露。多くのお客様が手に取ってその香りを体験していました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

赤道通過祭、プールデッキで開催

Date : 2017/02/01 緯度 : S 0度 31分 経度 : E 126度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 31.5度 速度 : 17.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



昔から船が赤道を通過する際には、「赤道祭」と呼ばれる道化芝居的な催しをする習慣があるそうです。飛鳥IIもついに赤道を越えて南半球へと入り、今宵は赤道通過祭で盛り上がりました。ネプチューン（海神）とオフィサー陣がなぜかプール上の特設土俵で相撲の取組。

そしてもちろん、日中はいつものように多数の教室・講座が開催されていました。お邪魔してみたのは14時からフォーシーズン・ダイニングルームで行われたワインセミナー（写真左下）。まさに華やかな客船にふさわしいこのセミナー、講師はレコール・デュ・ヴァンの畑久美子先生です。

今回は白と赤の2つのワインを試飲に用意。前者がレバノン、後者がチリで、「ニューワールド」と呼ばれる新世界のワインです。安定した品質やコストパフォーマンス、品種の明記、そして自由な発想によるワイン造りなど、新世界ならではの魅力を実際に味わいながら何うことができました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

飛鳥II初寄港となるアンボンで

Date : 2017/02/02 緯度 : S 3度 42分 経度 : E 128度 11分 天気 : 曇り 気温 : 29.5度 速度 : 13.0ノット
海域 : - 寄港地 : アンボン



奥へと続く深い入り江を朝早くから航行し、飛鳥IIは定刻8時にインドネシアのアンボンに入港しました。このマルク諸島一帯はかつて「香料諸島」と呼ばれ、クローブやナツメグなどの独占を狙って列強が覇権を争った場所。今ではイスラム教のモスクとキリスト教の教会が混在する穏やかな港町となっています。

岸壁での歓迎セレモニーのあと、お客様はクルーズ特典ツアーの「アンボンを訪ねて」に参加したり、港からすぐの町を自由に散策したり。写真の通り地元の人々はみなフレンドリーで、当欄筆者も歩くだけで方々から声がかかって、たった1時間ほどで何十人もの笑顔写真を写収めることができました。

特典ツアーでは州立のシワ・リマ博物館を見学。さらにオランダ支配に対抗した地元のヒロインであるマルタ・クリスティーナ英雄像の立つ丘から、接岸する飛鳥IIを遠望しました。決して大きな町ではないものの、人心穏やかで、東南アジアならではの魅力が詰まった寄港地でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

曇り空は学びの日

Date : 2017/02/03 緯度 : S 6度 59分 経度 : E 125度 23分 天気 : 曇り 気温 : 28.5度 速度 : 14.6ノット
海域 : バンダ海 寄港地 : 終日航海日



次なる寄港地コモド島へ向かって飛鳥IIはきょう一日、バンダ海を南下しました。ご覧の通りの鉛色の空でしたが、だからこそ逆に窓からの光は柔らかく、落ち着いた空気が船内に漂うような気がします。囲碁や社交ダンスやマジックなどの教室に参加するもよし、静かに窓外の景色を眺めるもよし……。

きょうのような終日航海日は、何かを学ぶのにもいい日です。そこで筆者は2つの講演に連続参加。ひとつ目は大津伸子先生の「ようこそ 世界遺産のコモド国立公園へ」（写真左下）。コモドドラゴンの生態を貴重な写真とともに解説してくれて、皆さん熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

そしてもうひとつは増田裕太クルーズディレクターの「世界遺産への旅」（同右下）。今航の寄港地だけでも6つの世界遺産に立ち寄れるそう。先日訪ねたパラオのロックアイランド群のほか、コモド島、シンガポール植物園、マラッカとジョージタウン、ホイアン、ハロン湾。旅の楽しみはまだまだ尽きないようですね。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

アリー刺繍教室

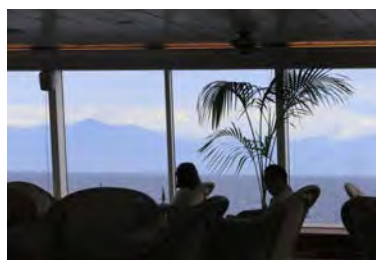
Date : 2017/02/04 緯度 : S 9度 11分 経度 : E 121度 12分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 13.7ノット
海域 : フローレス海 寄港地 : 終日航海日



きょうの飛鳥IIは右舷に小スワンダ列島を、左舷にティモール島を望んで西進しています。曇り空にも時折晴れ間が混じり、12時10分頃には今航で太陽が最も真上に近い場所になりました。きょうがクルーズ中で最も南を航行する日なのだと、増山キャプテンによる今朝の放送で聞きました。

午後、当欄筆者はちょっとユニークな「アリー刺繍教室」にお邪魔してみました。インド人刺繍職人のユーセフさんが教えてくれる、カシミール地方の伝統的なかぎ針刺繍です。1本のかぎ針だけで器用に編み続ける姿はまさに職人。手元を映し出すスクリーンにも思わず注目してしまいます。

教わったのは基本の編み方と、糸の止め方。先生は簡単にやっていますが、いざ自分がやるとなると難しい。どなたも最初はひとりで黙々と、次第にお互い相談しあい、最後は先生のまわりに集まって「教えて教えて」という具合。刺繍の魅力に引き込まれる様子が傍目にも分かる、素敵な教室のワンシーンでした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

コモドオオトカゲのいる森へ

Date : 2017/02/05 緯度 : S 8度 36分 経度 : E 119度 30分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 10.9ノット
海域 : - 寄港地 : コモド島



飛鳥IIはインドネシアのコモド島に到着し、今朝8時、美しい入り江に投錨しました。多くのお客様が参加したのは、世界自然遺産のコモド国立公園を散策する特典ツアー。筆者も午後の1時間コースにご一緒し、アジアとオーストラリアの植生が混じる鬱蒼とした森へと入ってゆきました。

レンジャーの先導で散策路を歩くと、ほどなくシプートと呼ばれる固有種の黄色いカタツムリや鹿に出くわし、また大きな椰子の一種グバン、タマリンドなどの植物も……。そしてひとしきり歩いた頃、森が少しだけ開けたところに、いました！ 通称コモドドラゴン、コモドオオトカゲです。

成体で2m以上にもなる世界最大のトカゲ。その足は太く、顔も実に迫力がありました。名前こそトカゲだけれど大型の肉食動物なので、過度に近づいてはいけません。レンジャーの案内に従いながら皆さん小声で「いたいた」「すごい！大きい！」。貴重なドラゴンたちの姿に心奪われているようでした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

はるか南洋での楽しみ

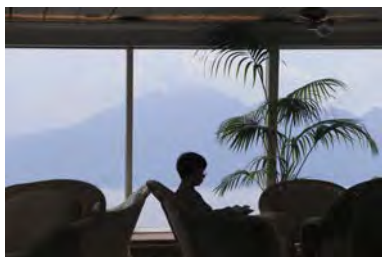
Date : 2017/02/06 緯度 : S 8度 51分 経度 : E 115度 42分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 13.3ノット
海域 : フローレス海 寄港地 : 終日航海日



気づけば横浜出航以来15日、半月が過ぎました。昨夕にコモド島を発った飛鳥IIはきょう昼ごろからバリ島を左舷に望んでロンボク海峡を北上し（写真左下）、ジャワ海へと進みつつあります。日本から遠い南の海にいなながらも、さすがは日本船、船内には慣れ親しんだ「日本」が常々存在します。

朝いちばんに覗いてみたのは、伊藤庸二先生の囲碁教室・初級（写真上）。この日は石を斜めに追いかける「シチョウ」と、そのシチョウでは取れない場合にひっかけるような打ち方をする「ゲタ」を習いました。さすがは定番人気の囲碁教室、ご覧の通りの満席で、みなさん熱心に聞き入っていました。

夕には柳家はん治師匠、柳家さん光さんの「あすか寄席」も開催。粋な江戸落語を存分に楽しむことができました。そしてディナーも和食……ではなくて、本日は何とゲストシェフ・加藤賢一シェフの中国料理。これがまたどのひと皿も上品で、実に美味。船旅って、本当に自由で素敵なものですね。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

キャプテンのお仕事

Date : 2017/02/07 緯度 : S 4度 36分 経度 : E 111度 37分 天気 : 曇り 気温 : 28.0度 速度 : 13.3ノット
海域 : ジャワ海 寄港地 : 終日航海日



ロングクルーズでは時折、終日航海日に操舵室の見学会「ブリッジオープン」が開催されます。きょうは朝10時からそのブリッジオープンがあり、たくさんのお客様で賑わっていました。増山キャプテンも海図をテーブルに広げて談笑したり、お客様からの操船に関する熱心な質問に丁寧に答えたり（写真左下）。

アジアのクルーズは見どころが多く寄港地続きなので、キャプテンの仕事もさぞや多忙だろうと思います。筆者がそう訊ねると、「そうですね、この先には狭い水路を通らなければいけない場所もありますし、アジアは小さな漁船が多い点も操船に気を遣うところです」。

そして晩にはアスカプラザで「カジノナイト」の催しが。オフィサー陣やクルーズスタッフが総出でディーラーを務め、もちろんそこには増山キャプテンも（同右下）。派手な帽子をかぶってのトランプさばきも慣れたもの。お客様に喜んで頂きたいと願うキャプテンの仕事ぶりにも気がついた、そんな一日でもありました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

オカリナ教室最終回

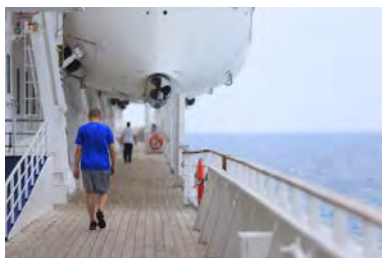
Date : 2017/02/08 緯度 : S 0度 50分 経度 : E 107度 22分 天気 : 曇り 気温 : 28.5度 速度 : 15.7ノット
海域 : ジャワ海 寄港地 : 終日航海日



ジャワ海を北西に進む飛鳥IIは午後4時ごろには赤道を越え、再び北半球へと入ります。コモド島を出て3日目、明日にはシンガポールに着きます。シンガポールはこの「アジア パシフィック グランドクルーズ」のほぼ中間地点にあたるため、きょう最終回を迎える教室がいくつかありました。

そのひとつがオカリナ教室の最終回。講師はフルート教室でも好評の中川彩先生です。フルートを赤いオカリナに持ち替えて、20名以上のお客様を5回に亘って教えてきました。きょうは基本となる音階の往復を復習したり、「しっかりめに吹いて音が震えないように」といったアドバイスをしていました。

教室時間外にも多くの方が熱心に自主練習してきたことは、当欄筆者も知っています。その成果が見事に出ましたね。「5回目で皆さんが『ふるさと』を吹けるようになったのは、素晴らしいことなんです」と中川先生も太鼓判。最後は先生への惜しめない拍手で幕を閉じた、素敵な教室のワンシーンでした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

シンガポール入港とダックバス

Date : 2017/02/09 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 52分 天気 : 曇り 気温 : 26.0度 速度 : 15.8ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



飛鳥IIは今朝8時、シンガポールのマリーナ・ベイ・クルーズセンターに接岸しました。隣に外国の客船が並ぶ2隻同時の入港シーンはなかなか見応えがありました。パラオ、アンボン、コモド島と、どちらかという素朴な寄港地が続いてきただけに、久々の大都会という印象も受けます。

さて、きょうは「ダックバスとサンズ・スカイパーク」のツアーに参加してみました。3棟の高層ビルの上に空中庭園を持つマリーナ・ベイ・サンズの展望台から市街や入り江に並ぶタンカーや貨物船の群れを望み、その後はユニークな水陸両用のダックバス（写真下2点）で水の上から街を観光しました。

ダックバスがばしゃ〜んと大波をたててマリーナ湾へと入る瞬間は、なかなかの迫力です。合いの手に毎度「グワッ、グワッ」という鳴き声が入る愉快的な日本語のナレーションを聞きながら、ウォーターフロントとして最も勢いのあるマリーナ湾の一带を存分に楽しむことができました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

光り輝く夜の植物園

Date : 2017/02/10 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 52分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



大都会シンガポールでの2日目は、皆さん思い思いに過ごしたのではないのでしょうか。ツアーに参加したり、お土産を探しに街に出たり……。筆者は日中、地下鉄に乗ってアラブ・ストリート方面に出掛けてみました。ブギス駅近くの露店が連なる中華街もあって、多くの人で賑わっていました（写真左下）。

また、一帯のランドマークでもあるサルタン・モスクは金色のドームが美しく、お昼時には大音量のアザーンが……。マレーシア料理の屋台で昼食を取り、流行りのスペシャルティコーヒー専門店ではアイスオレ。屋台から洗練されたレストラン&カフェまですべてが揃う、そんなシンガポールの魅力を満喫しました。

夜は特典ツアー「最先端の植物園 ガーデنز・バイ・ザ・ベイ」へ。巨大な植物を模したスーパーツリーグローブ（写真上）の音と光のショーが何とも幻想的。ふたつのドームに分かれて植えられた幾多の植物も見学できたし大満足です。そして日付が変わる午前0時、飛鳥IIはペナンに向けて出港しました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

オリエンタルデッキディナー

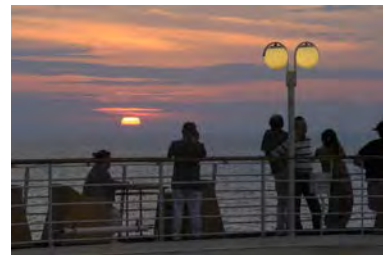
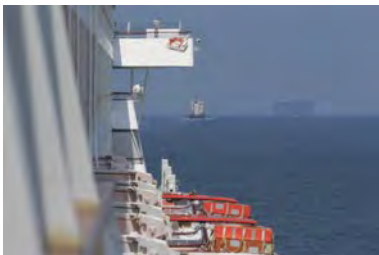
Date : 2017/02/11 緯度 : N 2度 29分 経度 : E 101度 37分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 14.2ノット
海域 : マラッカ海峡 寄港地 : 終日航海日



昨日の深夜にシンガポールを発った飛鳥II。きょうはマラッカ海峡をペナンに向けて航行中です。周囲に貨物船やコンテナ船などたくさんの船を従えて進むこの海峡は海運の要衝であり、また水深が浅く水路の幅が限られるために、船の航行にも気を遣う海域のようです。

日中はずっとたくさんの船が近くに見えて、何だかそれだけでも楽しい気分になりました。そして夕方は待望のオリエンタルデッキディナー。オフィサー陣自らが鉄板で焼いてくれる魚介はもとより、ドラゴンフルーツや竜眼などのフルーツビュッフェなども盛況でした。

クルーズスタッフによる出し物、ゲストエンターテイナーの飛び入り演奏などもあってデッキディナーは盛りだくさん。多くのお客様が海風が頬を撫でるプールサイドで食事をして、華麗に踊り、楽しんでいらっしゃいました。午後7時半ごろの夕日がまたひととき美しく、皆さん思わず見入っていました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

異文化の融合する世界遺産の港町

Date : 2017/02/12 緯度 : N 5度 25分 経度 : E 100度 21分 天気 : 晴れ 気温 : 30度 速度 : 14.1ノット
海域 : - 寄港地 : ペナン



飛鳥IIは今朝9時にマレーシアのペナンに入港しました。ターミナルの目前に広がる旧市街はジョージタウンと呼ばれ、世界文化遺産に指定されています。古くから交易で栄え、イギリス植民地時代のコロニアル建築に加えてマレーや中国、インドなどの文化も混じる、実に変化に富んだところです。

波止場を出てすぐのビクトリア時計台は1897年築のコロニアル調、その先には中華風とマレー風が融合したプラナカン・マンション (写真上)。付近のインド人街・リトルインディア (同左下) には香辛料の匂いが漂い、さらに歩くと春節で賑わう中国寺院やイスラム教のモスク、キリスト教の教会も……。

概ね徒歩10分程度の圏内にこれだけ多様な文化が詰まっていることには、改めて驚きます。ツアーではこれらを一日観光で巡ったり、現地の三輪人力車「トライショー」で観光するものもありました。青空のきれいな、よく晴れたジョージタウンでの一日を、皆さん思い思いに楽しまれていたようです。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

日差し目映いリゾートの島で

Date : 2017/02/13 緯度 : N 6度 15分 経度 : E 99度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 31度 速度 : 13.4ノット
海域 : - 寄港地 : ランカウイ



このところ朝焼け・夕焼けのきれいな日が多く、今朝も夜明け前の一瞬、鮮やかな橙色に染まる浮雲がまだ眠たい目をはっきりと覚ましてくれました。飛鳥IIは朝日とやや強めの風を正面から受けて、小さな島々が日本の松島のように連なるランカウイの栈橋に午前9時過ぎ、ゆっくりと着岸しました。

シャトルバスが着いた免税店の脇には広々としたチェナンビーチ（写真上）があって、飛鳥IIのお客様も思い思いに散策したり、写真を撮ったり、きれいな色の貝殻を拾ったり……。筆者もそんな浜辺でしばらくのんびり過ごし、お土産を買って、午後は「ランカウイ半日観光」のツアーに参加しました。

最初の見どころはイーグルスクエア。ラン（鷲）カウイ（赤茶色の岩）と島名に冠される通り、鷲はこの島の象徴です。見上げるほど大きな、海に向かって羽ばたく鷲の像は迫力満点。また、マハティール元首相に贈られた海外からの品々を展示する博物館、悲劇の王女マスリの墓など、興味深い展示が多くありました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

穏やかなマラッカ海峡で

Date : 2017/02/14 緯度 : N 3度 46分 経度 : E 100度 9分 天気 : 曇り 気温 : 28度 速度 : 14.6ノット
海域 : マラッカ海峡 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはランカウイで折り返し、マラッカ海峡を今度は南東に向かって航行しています。狭い海峡だからでしょうか、ここ何日か風はあっても波は少なく、海面はきょうもご覧の通りの穏やかさ。デッキから下を望むと、舳先が作った無数の泡がはじけてゆくシュワシュワという小さな音が聞こえます。

相変わらず周囲にはたくさんの貨物船やタンカーなどが行き交っていて、時折イルカの群れも現れました。周回できる7デッキの屋外を歩いていると、「さっきのイルカ見た？ すごい群れだったよねえ」とお客様。いかにも船の旅らしい、ゆったりとした時間が流れています。

船内では午前中には「飛鳥IIから見える様々な船」の講演（写真左下）がありました。ディナー前にはバレンタインのチョコレートが振る舞われ、食事の後にはお客様が主役のかくし芸大会（同右下）も。皆さんの芸達者ぶりに会場からは惜しみない拍手が。きょうも楽しいクルーズライフを満喫できました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

ナンタケットバスケット教室

Date : 2017/02/15 緯度 : N 1度 51分 経度 : E 104度 42分 天気 : 晴れ 気温 : 28度 速度 : 14.9ノット
海域 : マラッカ海峡 寄港地 : 終日航海日



朝早く、飛鳥IIはシンガポールの街並みを左舷に見ながら海峡を回り込み、10時頃には南シナ海を北上し始めました。終日航海日のきょうご紹介するのは八代江津子先生の「ナンタケットバスケット教室」。午前と午後の合計2時間で、小さくてかわいらしいキャンディバスケットを作ります。

このバスケット、かつて捕鯨基地として栄え今では避暑地として知られるアメリカ東海岸・ナンタケット島の伝統工芸品。ここ何日かで飛鳥IIが往復したマラッカ海峡はナンタケット島から鯨を求めてはるばる世界に出た捕鯨船も通ったところで、同乗の樽職人が船上でバスケットを編んでいたのが起源だそう。

ナンタケットバスケットはこの海域にもゆかりが深く、しかもクルーズの旅にふさわしい高級工芸品です。ひと目ずつ丁寧に根気よく編んでゆき、最後は木型から外してフタを取り付ければ完成。お客様のどなたもが、自ら編み上げるバスケット作りの楽しさを満喫されていたようです。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

ピアノ教室での穏やかな時間

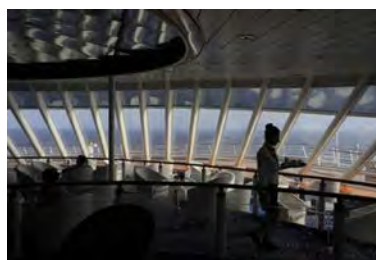
Date : 2017/02/16 緯度 : N 6度 51分 経度 : E 107度 53分 天気 : 晴れ 気温 : 26度 速度 : 15.0ノット
海域 : マラッカ海峡 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIのロングクルーズには多種多様な教室がありますが、中でも6デッキ後方、マリナーズクラブで行われるピアノ教室の個人レッスンは船上教室の魅力を凝縮したかのように、見ていて心が和みます。教えているのは谷坂仁美先生（写真上、左端）。

今回はお邪魔したのは30分×3回の個人レッスンの3回目。レッスンを受けるお客様は母娘でご乗船とすることで、お母様が見守る中で名曲『ムーンリバー』を練習されていました。「お上手で既にすらすらと弾けていらっしゃるので、音の強弱や盛り上げ方など、曲に表情をつける方法をお教えますね」と先生。

個人レッスンでは久しぶりにピアノに触れる方が多く、たいがい、基礎に立ち戻って始めるそうです。とはいえ意外に多くの方が早い段階で勘を取り戻されるとか。「これを機に、陸地に戻ってからも続けようかしら」と仰る方も多いと聞きました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

アオザイ姿のベトナム女性と一緒に街へ

Date : 2017/02/17 緯度 : N 10度 45分 経度 : E 106度 45分 天気 : 曇り 気温 : 32度 速度 : 12.2ノット
海域 : - 寄港地 : ホーチミン



飛鳥IIは日の出とともに南シナ海に面した河口に入り、商都ホーチミンの棧橋に向けて泥濁りの川を遡ってゆきました。密林の間を蛇行する川を3時間ほど進んで10時に着岸。きょうの筆者は、午後からの「～写真家と撮る～ モデルとめぐるサイゴン撮影ツアー」に参加してみました。

先生はここベトナムに長く暮らす勝恵美さん。モデルは地元の大学生・ニューさんで、白いアオザイがとてもよく似合います。8名のお客様とともにサイゴン大教会や中央郵便局などを巡りました。「建物全部を入れて写したら、こんどは壁だけを背景に使いましょう。余計なものは入れないように……」。

根っから明るい勝先生はアドバイスも分かりやすかったですね。ひとつの場所でさまざまな撮り方を見せてくれたり、上半身だけ写して画面を整理するなど方法も教わりました。写真上は統一会堂をバックにしての1枚。最後はオペラハウスの前で全員で記念撮影もして、大満足のツアーでした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

ホーチミン出港、大河を下る

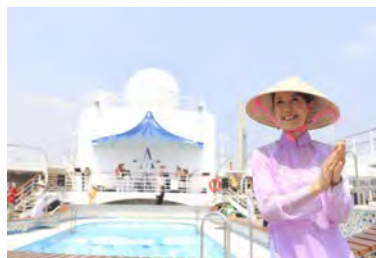
Date : 2017/02/18 緯度 : N 10度 45分 経度 : E 106度 46分 天気 : 曇り 気温 : 31度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : ホーチミン



サイゴン川のロータスポートに停泊中の飛鳥IIはきょう11時半過ぎ、3隻のタグボートの力を借りて、直径わずか330mのスペースで右に180度転回し、ホーチミンを出港しました(写真上)。「飛鳥IIの全長が241mですから前後の余地は約45mずつしかなく、技術の要る操船でした」と増山キャプテン。

真昼の出港は珍しくも楽しいものです。特にここではその後3時間ほど、ジャングルの中をうねる泥濁りの大河を右に左に舵を切りつつ、漁民の小舟を避け、対向の大型貨物船とすれ違う……というスリル満点のクルーズでした。5万トンを超える客船が大きく回頭して景色が横に流れる様子は、本当に心躍ります。

昨日ときょう、ホーチミンではこのクルーズ中でも特に日差しが暑く感じられました。そんな中でもセイルアウェイパーティーや6デッキ船尾でのアクティビティなど、お客様は皆さん元気に楽しく過ごしていらっしゃるようです。南シナ海に出た飛鳥IIは、次なる寄港地ダナンを目指して北上します。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

落合務シェフの料理教室

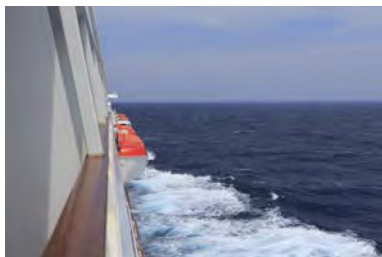
Date : 2017/02/19 緯度 : N 12度 26分 経度 : E 109度 43分 天気 : 曇り 気温 : 25度 速度 : 14.8ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



ホーチミンから乗船したゲストシェフの落合務シェフについては、皆さんご存知に違いありません。東京・銀座にある「LA BETTOLA da Ochiai」のオーナーシェフであり、日本のイタリア料理シーンを常に先導している達人です。きょうはそんな落合シェフの料理教室が飛鳥IIの船上で初めて開催されました。

フォーシーズン・ダイニングルームを会場にして教えて頂いたのは、カルボナーラの作り方。「パスタは炒めるんじゃなくて、和えるんです。炒めるのは焼きそばって言いますからね」「茹で時間は6分と書いてあったら僕らは5分10秒。皆さんなら5分でいい。お皿で出す頃にはちょうどいいアルデンテになります」。

「火をつける、止めるはとっても大事。カルボナーラはパスタを入れる時は火を止めます。火がついていると炒り卵みたいになって失敗するんです」。軽妙なトークにちりばめられた数々のコツ、手元を映すライブカメラ、絶品だった試食のカルボナーラ。料理番組を間近で見るような、白熱の教室でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

2つの世界遺産、ミーソン聖域とホイアン旧市街へ

Date : 2017/02/20 緯度 : N 16度 7分 経度 : E 108度 13分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 14.6ノット
海域 : - 寄港地 : ダナン



飛鳥IIは今朝8時にダナンに入港しました。きょうの筆者はベトナム中部の見どころとして人気がある2つの世界遺産、チャンパ王国が建てたヒンドゥー教の宗教施設・ミーソン聖域と、トゥボン川のほとりに栄えた歴史的な交易の町・ホイアンを訪ねる1日ツアーに参加してみました。

ミーソン遺跡（写真右下）は今でこそ田園の先の森に静かに佇む遺跡ですが、はるか昔に西方のヒンドゥー文化がここまで押し寄せたことを物語っているわけで、地政学上中国の影響が色濃いベトナムの中では異彩を放ち、ひととき感慨深いものがあります。

中世に交易で栄えたホイアン（同上、左下）も素敵でした。中華風とフレンチコロニアルが融合した家並みが特徴で、日本人町の面影を残す屋根つき木造橋「来遠橋」や、伊勢うどんが起源という説もある汁なし麺「カオラウ」などもあり、異国情緒に浸りながらも不思議と心が和んでしまいます。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

書のライブパフォーマンス

Date : 2017/02/21 緯度 : N 17度 55分 経度 : E 109度 22分 天気 : 晴れ 気温 : 23度 速度 : 13.2ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



昨夕にダナンを出港した飛鳥IIは、ハロン湾に向けてベトナム沿岸を北上しています。波は穏やかですが、午前中は霧のかかった曇りがちの天候で景色は色を失い、水墨画のように見えました。そんな中で14時からギャラクシーラウンジで開催されたのが、紫舟さんの「書のライブパフォーマンス」(写真上)。

書家でありアーティストの紫舟さんは、日本の伝統文化である「書」をメディアアートや立体作品へと昇華させた個性的な作品で、皆さんご存知のことでしょう。今回は事前にお客様からお寄せ頂いたいくつもの願い事をひとつの作品にしたり、巨大な和紙に文字と絵が踊る大作に仕上げたり……。

そして乳白色の空に溶けてゆくかのような夕日のあとは、プールサイドでアジアデッキディナー。肉料理や海鮮料理の数々、アジアのフルーツなどを、心地よい海風を浴びつつ味わいました。アジア各国チームに分かれて行ったクルーズスタッフによる出し物などもユニークで、楽しい終日航海日となりました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

水墨画の世界を小舟で周遊

Date : 2017/02/22 緯度 : N 20度 52分 経度 : E 107度 7分 天気 : 曇り 気温 : 23度 速度 : 11.7ノット
海域 : ハロン湾 寄港地 : ハロン湾



飛鳥IIはベトナム北部のハロン湾にやってきました。水墨画の世界のような朝霧の中を進むその舳先の向こうから、不思議な形をした小さな島影がひとつ、またひとつと浮かび上がってきます。大小2000もの島々からなるハロン湾に投錨し、きょうのツアーは飛鳥IIから観光船に直接乗り込んで入り江を周遊します。

はるか昔に大陸プレート同士がぶつかることで石灰石群がせりあがって出来たこの景色は、世界遺産にも指定され、今では世界各国から多くの観光客が訪れます。ガイドの方によれば、白の木造で統一された観光船も全部で500隻以上もあるのだそう。飛鳥IIの近くには、他に2隻の客船が来ていました。

小さな観光船に乗って海面に近い目線で見ると、ハロン湾の風情はいっそう豊かに感じられます。木造船のエンジン音、ベトナム人の船長が振る舞ってくれたお茶、船内のテーブル席でビールとともに味わうベトナムの揚げ春巻き……。周囲はどちらを見ても絶景で、もちろん、皆さんたくさん写真を撮られていました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

落合務ゲストシェフのイタリアン

Date : 2017/02/23 緯度 : N 17度 57分 経度 : E 109度 35分 天気 : 曇り 気温 : 24.5度 速度 : 12.3ノット
海域 : ハロン湾 寄港地 : 終日航海日



昨夕にハロン湾を発った飛鳥IIは、きょう一日、海南島の南を回り込むようにして航行し、香港へと向かっています。朝方は曇りがち、昼には晴れ間、そして夕方は再び曇りや霧、という天気。とはいえ海は終始とても穏やかで、船は海面を滑るようにして進んでいます。

そんなきょうは晩のドレスコードがインフォーマル。ディナーは皆さんお待ちかね、落合務ゲストシェフ（写真左下）によるイタリアンのフルコースです。お客様が手にしたメニューはすべて自筆のサイン入り。落合シェフからのメニュー紹介に続いて、いよいよディナーが始まりました。

ホワイトアスパラのパンナコッタ、キノコのリゾット タラバ蟹と真鯛のフリット添え、「イタリアから帰国して以来、36年作り続けている」ういのスパゲッティ（同上）、ローストビーフ トリュフ風味のソース（同右下）等々、どれも絶品。きょうも飛鳥IIに乗ってよかった！と心から思える素敵な一日でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

和をテーマにした船上イベント

Date : 2017/02/24 緯度 : N 19度 30分 経度 : E 113度 19分 天気 : 曇り 気温 : 24度 速度 : 10.6ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



帰国前最後の寄港地となる香港を明日に控えた飛鳥II。船上生活を楽しむお客様にとっても、そろそろ日本を懐かしく思い出す頃ではないでしょうか。そんなきょうは「和をテーマにしたイベント」が盛りだくさんの一日でした。コマやけん玉、かるたなどの遊びのほか、プールサイドでは餅つき大会も。

時々雨もばらつく空模様でしたが、それでもたくさんのお客様がプールサイドに集まり、法被を着て「よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに杵を振るいました。できたお餅は磯辺もち、からみもち、あんもち、きなこもちと4つの味つけにして美味しく頂きました。

晩にはピアニストのコーニッシュさんとミュージカルスターの3人組・オーチャード3による『ポピュラーナイト』をギャラクシーラウンジで。コーニッシュさんのアレンジによる和洋の名曲を華やかに聞かせてくれました。パワフルな演奏と張りのある歌声に、思わず聞き入ってしまいました。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

飛鳥II就航11周年

Date : 2017/02/26 緯度 : N 21度 48分 経度 : E 119度 8分 天気 : 曇り 気温 : 20度 速度 : 16.8ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは昨晚、両舷を香港の夜景に彩られてビクトリアハーバーを後にしました。いよいよ日本に向けて舵を切った終日航海日のきょうは、このクルーズを名残惜しむかのようにイベントが盛りだくさん。朝からブリッジオープンや映画監督・増田久雄さんの講演、各種教室が続々と開催されています。

ひときわユニークだったのは考作ユニット「トモコワラ」の萩原朋子先生・卓先生によるクラフト教室（写真下2点）。午前中は「銘木アイスクリームスプーンづくり」、午後は「飛鳥IIでつくるカメラ・オブスキュラ」。カメラの起源とされる素朴な装置に、おぼろげな逆像が映っているのが分かりますか？

そして実はきょう2月26日は飛鳥II就航11周年の記念日です。ディナーは総料理長・西口雅浩シェフが祖父の代から受け継ぐ名物のシャリアピンステーキを、また晩のコンサートは渡辺真知子さんが今航最後のゲストエンターテイナーとして、数々の名曲を力強く、そして素敵に歌ってくれました（写真上）。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

クルーズを締めくくるフォーマルナイト

Date : 2017/02/27 緯度 : N 25度 31分 経度 : E 124度 22分 天気 : 晴れ 気温 : 18度 速度 : 17.2ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



深夜に最後の前進の時刻改正をして、船上の時計は今朝から日本時間と同じ時を刻むようになりました。早朝5時半頃にはついに日本の携帯電話の電波が入り、ほどなく与那国島を右舷に望んで通過しました。飛鳥IIは黒潮に乗って時速18ノット（約33.3km）で神戸に向けて順調に航行しています。

13時から開催された当欄筆者担当の写真教室も最終回となる第4回で、お客様の写真の講評会を行いました。無事に教室を終えた頃、船内には旅の総仕上げの空気が漂い始めたのでしょうか、あちこちでお客様同士、またお客様と講師との間で「今回はお世話になりました」という挨拶の声が聞こえてきました。

夕方にはキャプテンズ・フェアウェルパーティーがギャラクシーラウンジで催され、増山キャプテンを筆頭とするシニアオフィサー陣が、それぞれに個性的で心温まる挨拶をしてくれました。華やかな正装に身を包んだ今航を締めくくるフォーマルナイト。どなたも素敵な夜を過ごされたことでしょう。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

長旅の総仕上げ、クルーショー

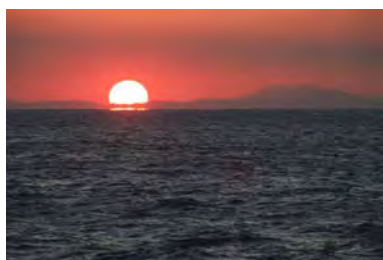
Date : 2017/02/28 緯度 : N 30度 21分 経度 : E 130度 45分 天気 : 晴れ 気温 : 15度 速度 : 18.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今航37日目のきょうは最後の終日航海日。明日には神戸に、明後日には横浜に着きます。長旅の総仕上げとも言えるこの日のメインイベントは「クルーショー」に違いありません。飛鳥IIのオフィサーやクルーたちがステージで多彩な芸を披露してくれる、ロングクルーズならではの恒例行事です。

ショーは満員御礼で立ち見も出るほど。早着替え歌謡ショーや新入社員7名による踊りなどコミカルで楽しい出し物がある一方で、ホテル部男性陣によるボディスラップやプロダクションキャストとクルーズスタッフのペアによるダンスなど「どれほど練習したのだろうか」と思う圧巻のステージもありました。

すべての写真を載せられないのが残念ですが、写真上はオフィサー陣が即興で描く「飛鳥絵巻」が終わって増山キャプテンからの締め挨拶、右下は誰もが毎日お世話になったハウスキーピング（客室係）の女性たちによる合唱。夕日も抜群にきれいだった、総仕上げにふさわしい終日航海日でした。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

友ヶ島水道を抜けて神戸港へ

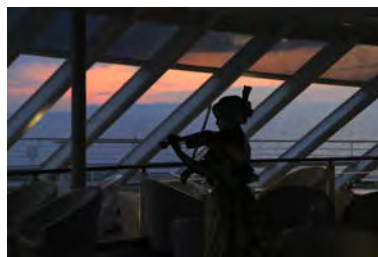
Date : 2017/03/01 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 10度 速度 : 15.6ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



午前9時より少し前に飛鳥IIは左舷に淡路島を、右舷に小さな沖ノ島（写真左下）を望みながら友ヶ島水道の狭い水路へと差しかかりました。周囲には多くの見慣れた形の日本の漁船が操業しています。一見広だけかと思う海の景色にもやはりそれぞれ見覚えがあり、郷愁を覚えるものだと気づきます。

神戸入港はお昼時。プロムナードデッキには入港風景を見に、また出迎えのご家族やお友達に手を振るためにたくさんのお客様が集まっていました。レセプション前のアスカプラザでも神戸下船のお客様とお見送りのお客様が「楽しかったね」「また次の航海で」と挨拶を交わしていました。

その後は予定より30分ほど早い15時半頃に出航、18時前には再びの友ヶ島水道を後にしました。ちょうど夕日の時間と重なって、右舷に沈む夕日が島影に見え隠れながら船体を茜色に染めています。飛鳥IIは太平洋をさらに東進、明日の午後には母港の横浜港へと帰ります。



Cruise : 2017年アジアパシフィックグランドクルーズ (38)

39日間のクルーズ、いよいよ完結

Date : 2017/03/02 緯度 : N 34度 55分 経度 : E 139度 40分 天気 : 曇り 気温 : 10度 速度 : 16.4ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



クルーズ最終日となる今朝の船内はさすがに静かな雰囲気でした。皆さん荷物をまとめて「東の間の我が家」の片づけを済ませた頃でしょう。お昼近くになるにつれて徐々にパブリックスペースにお客様が増えてきて、11デッキ前方のパームコートなどで談笑する方々を見掛けるようになりました。

お昼時には急に強い雨が降り出したものの、飛鳥IIは順調に、13時半には浦賀水道へと入りました。長旅を終えて前後に貨物船やタンカーを従えつつ東京湾へと帰り着くこの場面、何度見てもクルーズ特有の感慨深さがあると感じます。霧の中に、いくつもの船がシルエットになって浮かんでいます。

14時45分には横浜港港外に着き、無数のカモメが舞い飛ぶ中で飛鳥IIは回頭。右舷づけの出船（でふね）で大さん橋に着岸しました。「2017年アジアパシフィックグランドクルーズ」はこれにて完結。どなたも抱えきれないほどの思い出とお土産とともに、それぞれの家路へと向かいました。

